

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 令和3年11月1日～令和4年10月31日



令和4年12月13日発行

有限会社 エム・イー・シー

佐世保市天神町1746番地

目次

1	会社概要	2
2	環境経営方針	6
3	マネジメント組織	7
4	環境負荷及び取組への自己チェック	8
5	環境経営目標	10
6	環境実績	12
7	環境活動の取組結果への評価、次年度の取組内容	15
8	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	15
9	代表者による評価と見直し	15



1. 会社概要

事業所名 有限会社 エム・イー・シー
 代表者名 城座 義昭
 所在地（本社） 長崎県佐世保市天神町1746番地
 TEL 0956（31）2854 FAX 0956（34）5174
 Email mec.ltd@circus.ocn.ne.jp
 環境管理責任者 富岡 慎一 連絡先 本社に同じ
 環境担当者 富岡 勇希 連絡先 本社に同じ
 環境担当者 城 也真人 連絡先 本社に同じ
 事業内容 一般廃棄物収集運搬・処分業（米軍から排出される食糧廃品）
 産業廃棄物収集運搬・処分業
 堆肥販売業
 活動規模 法人設立年月日 昭和40年1月19日
 資本金 500万円
 従業員数 22名
 総面積 2,900㎡
 事業所床面積 142.5㎡

事業規模、処理実績

		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
売 上 高		万円	20,000	21,000	20,000
収 集 運 搬 量	一 般 廃 棄 物	t	7,523.89	7,107.23	7,109.19
	産 業 廃 棄 物	t	1,377.08	1,574.85	1,458.02
	合 計	t	8,900.97	8,682.08	8,567.21
中 間 処 理 量	一 般 廃 棄 物	t	37.18	30.32	42.18
	産 業 廃 棄 物	t	167.08	163.25	140.91
	合 計	t	204.26	193.57	183.09
最 終 処 分 量	一 般 廃 棄 物	t	4.50	2.24	2.18
	産 業 廃 棄 物	t	0.33	0.23	0.68
	合 計	t	4.83	2.47	2.86
堆 肥 販 売 量		t	4.60	8.48	9.65

運搬車両、重機等種類と台数

区分	車 種	台数	区分	車 種	台数
収 集 運 搬 車 両	4 t パッカー車	5台	収 集 運 搬 車 両	軽自動車	4台
	4 t 平ボデー車	1台		フォークリフト	3台
	4 t ダンプ車	1台		ホイローダー	2台
	2 t パッカー車	4台		油圧ショベル	2台
	2 t ホロ車	1台		船舶	2隻
	2 t パワーゲート車	1台		ロータリー式攪拌発酵機	2機
	2 t バキューム車	1台			
	2 t ダンプ車	1台			
	4 t アームロール車	1台			

許可登録の内容

一般廃棄物収集運搬業

許可権限者	積替 保管		許可の年月日 許可の有効期限	許可番号	燃やせ るゴミ	燃やせ ないゴミ	粗大ゴミ	資源物
	有	無						
佐世保市	●		令和4年4月1日 令和6年3月31日	佐世保市指令4廃指第10号	●	●	●	●

産業廃棄物収集運搬業

許可権限者	積替 保管		許可番号 許可の年月日 許可の有効期限	許 可 項 目																	
	有	無		燃え殻	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	コンクリートくず	陶磁器くず	がれき類	汚泥	廃油	動植物性残さ	動物のふん尿	ばいじん（水銀含む）
佐世保市	●		08011001040 平成30年12月17日 令和5年12月16日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
長崎県		●	04200001040 平成31年1月29日 令和6年1月28日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀県		●	04106001040 平成31年2月18日 令和6年2月17日	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●

特別管理産業廃棄物収集運搬業

許可権限者	積替 保管		許可の年月日 許可の有効期限	許可番号	感染症産業廃棄物
	有	無			
佐世保市		●	令和4年9月26日 令和9年9月25日	08061001040	●

一般廃棄物積替保管施設

所在地	廃棄物の種類	面積	保管上限	保管方法その他
佐世保市天神町1745番2	ごみ（可燃性）	30.0㎡	45.0㎡	屋内保管
	粗大ごみ（可燃性）	6.0㎡	9.0㎡	屋内保管
佐世保市天神町1761番2	資源物（缶類・ビン類・古紙類）	3.0㎡	2.7㎡	屋内保管

産業廃棄物積替保管施設

所在地	廃棄物の種類	面積	保管上限	保管方法その他
佐世保市天神町1745番2	①燃え殻 ②ばいじん	0.3㎡	0.2㎡	容器保管
	②廃酸	0.3㎡	0.2㎡	容器保管
	③廃アルカリ	0.3㎡	0.2㎡	容器保管
	④廃プラスチック類	1.6㎡	1.4㎡	容器保管
	⑤紙くず	1.2㎡	0.9㎡	容器保管
	⑥木くず	36.7㎡	18.6㎡	1.5m（一部容器保管）
	⑦繊維くず	0.7㎡	0.6㎡	容器保管
	⑧ゴムくず	0.7㎡	0.6㎡	容器保管
	⑨金属くず	4.7㎡	4.2㎡	容器保管
	⑩ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	1.4㎡	1.2㎡	容器保管
	⑪がれき類	0.9㎡	0.7㎡	容器保管
	（上記のうち、石綿含有産業廃棄物を除く。）			

一般廃棄物処分業

許可権限者	事業の範囲	許可の年月日	許可番号	施設の種類	設置場所	設置年月日
		許可の有効期限				
佐世保市	中間処理 （焼却）	令和4年4月1日 令和6年3月31日	佐世保市指令2廃指第7号	ごみ処理施設 （焼却施設）	佐世保市天神町1745番2	平成12年1月17日

※一般廃棄物の種類・・・燃やせるごみ（このうち、特別管理一般廃棄物であるものを除き、米海軍から排出される食糧廃品に限る）

※営業の区域・・・・・・・・佐世保市内一円（植物防疫法に基づく処理）

※処理能力・・・・・・・・610kg/日（13時間：46.9kg/時）

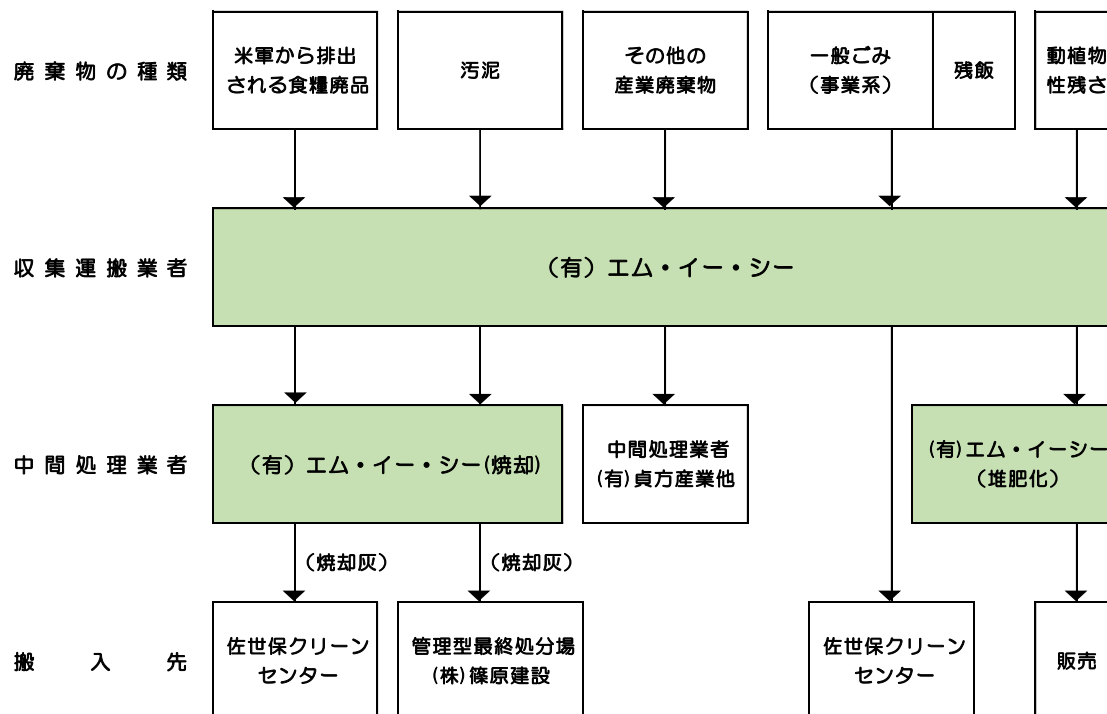
産業廃棄物処分業

許可権限者	事業の範囲	許可の年月日	許可番号	施設の種類	設置場所	設置年月日
		許可の有効期限				
佐世保市	中間処理 （焼却）	平成30年12月17日 令和5年12月16日	08021001040	焼却施設	佐世保市天神町1745番2	平成5年9月30日

※産業廃棄物の種類・・・汚泥・廃油・動植物性残さ（これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）

※処理能力	汚泥	1,600kg/日（10時間）	160kg/時間
	廃油	400kg/日（10時間）	40kg/時間
	動植物性残さ	1,950kg/日（10時間）	195kg/時間

廃棄物処理フロー図



※ 廃棄物処理料金

処理料金につきましては、種類・量・距離・難易度等により計算いたします。

お問い合わせ下さい。

※ 堆肥届出番号・・・・・・長崎県 特肥第12-6号

2. 環境経営方針

有限会社エム・イー・シー環境経営方針

1. 基本理念

有限会社エム・イー・シーは、事業活動を行う上で、環境の保全を経営の重要課題の一つとして認識し、事業活動の中で環境に与える影響を的確に把握すると共に、地球環境及び地域環境に配慮した事業活動を行う企業を目指します。

また、当社は事業活動を行うなかで地域住民や地域環境に配慮し、環境と人にやさしい事業活動を行っていきます。この実現のため、以下の環境経営方針を定め、その方針に基づいて環境の保全及び継続的改善に努めます。

2. 環境経営方針

(1) 省エネルギー活動の推進

事業活動における消費電力の節電等、二酸化炭素排出の削減に努めます。

(2) 燃料消費量削減によるCO2削減の推進

エコドライブ及び運行ルートの効率化を図る等、環境負荷への低減を推進します。

(3) 廃棄物の削減、リサイクル活動の推進

事業活動に伴う廃棄物を最小限にする努力をし、リサイクル活動を推進します。

(4) 水資源を大切にし、節水活動に努めます。

(5) 環境関連法規の順守

環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。

(6) 継続的環境改善の実施

環境マネジメントに関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらなる継続的な環境改善につなげていきます。

(7) 情報提供と地域の環境活動・施策への協力

環境経営レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に、地域社会の一員として地域の環境活動並びに施策に積極的に参加します。

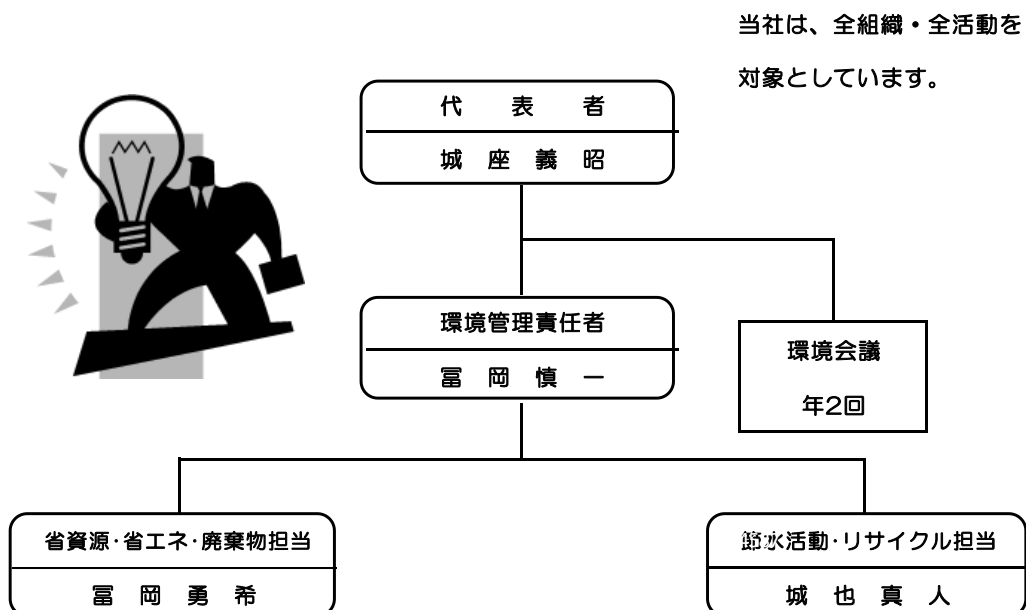
環境経営方針を全従業員が共有し、環境に関する理解を深め環境改善に取り組みます。

令和3年10月1日改定

有限会社エム・イー・シー

代表取締役 城座 義昭

3. マネジメント組織図



	役 割 権 限 責 任
代 表 者 城 座 義 昭	1.環境管理責任者の指名 2.環境経営方針の制定 3.環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4.環境経営システムの定期的見直しの実施 5.社内情報の外部公開可否の決定
環境管理責任者 富 岡 慎 一	1.環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置 2.代表者に対し、環境経営システムの実施報告 3.推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 4.環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 5.代表者に代わってエコアクション21全体の構築及び運営に責任をもつとともに、必要な権限を与えられる
各 部 の 担 当 者	1.具体的組織の進捗状況の調節は、環境管理責任者と話し合い、会合でまとめる 2.自らが組織の中でどのような役割を担っているのかを確認し、環境管理責任者の指示のもとに行動する
全 職 員	1.各自が環境経営方針を理解する 2.環境経営計画に定められた内容を実施する

4. 環境負荷及び取組への自己チェック

当社の過去の主な環境負荷の実績は下記の通り

環境への負荷			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-co ²	191,292.67	204,194.31	181,177.02
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量		t	1,377.08	1,574.85	1,458.02
	中間処理量		t	167.09	163.25	140.91
	中間処理後の産廃処分量		t	0.33	0.23	0.68
受託した一般廃棄物の処理量	収集運搬量		t	7,523.89	7,107.23	7,109.19
	収集運搬のうち、豚の飼料		t	144.68	152.65	0.00
	中間処理量（米軍から排出される食品廃品）		t	37.18	30.32	42.18
産廃物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	可燃ごみ	t	0.31	0.31	0.31
		資源物	t	0.14	0.14	0.14
	産業廃棄物	汚泥	t	37.49	39.17	29.09
		焼却灰	t	0.33	0.23	0.68
水使用量	上水		m ³	404.00	236.00	154.00
エネルギー使用量	購入電力（新エネルギー除く）		MJ	238,662.57	254,302.10	183,427.80
	化石燃料		MJ	2,586,905.90	2,820,180.72	2,445,134.70
物質使用量	資源使用量		t	0.06	0.05	0.05

※化学物質は使用していません

取組への自己チェック結果表

項 目	令和2年度			令和3年度		
	基準点	評価点	達成率	基準点	評価点	達成率
1. 事業活動へのインプットに関する項目	242	139	57.4%	242	135	55.8%
①省エネルギー	150	71	47.3%	150	68	45.3%
②省資源	46	37	80.4%	46	37	80.4%
③水の効率的利用及び日常的な節水	46	31	67.4%	46	30	65.2%
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	186	128	68.8%	186	133	71.5%
①温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	62	34	54.8%	62	34	54.8%
②廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	90	68	75.6%	90	73	81.1%
③排水処理	30	24	80.0%	30	24	80.0%
④その他生活環境に係る保全の取組等	4	2	50.0%	4	2	50.0%
3. 製品及びサービスに関する項目	56	39	69.6%	56	41	73.2%
①グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用等）	36	26	72.2%	36	26	72.2%
②製品及びサービスにおける環境配慮	20	13	65.0%	20	15	75.0%
4. その他	36	13	36.1%	36	13	36.1%
②環境コミュニケーション及び社会貢献	24	8	33.3%	24	8	33.3%
③施主、事業主における建築物の増改築、解体等に当たっての環境配慮	12	5	41.7%	12	5	41.7%
合 計	520	319	61.3%	520	322	61.9%



5. 環境経営目標【中期目標】

① 省エネルギー活動の推進

電力消費量及び自動車燃料は、令和元年を基準とし令和2年度より、3ヶ年継続して維持する

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二酸化炭素排出量 (100万単位の目標値)	kg-CO ²	191,292.67 (956.46)	191,292.67 (956.46)	191,292.67 (956.46)	191,292.67 (956.46)
電力消費量 (100万単位の目標値)	kwh	24,279 (121.4)	24,279 (121.4)	24,279 (121.4)	24,279 (121.4)
燃料油消費量 (100万単位の目標値)	t	49,352.87 (246.76)	49,352.87 (246.76)	49,352.87 (246.76)	49,352.87 (246.76)

※電力消費量の二酸化炭素排出係数は「九州電力2017年度調整後排出係数」0.463kg - Co²/kwh
を使用する

② 自社の一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

一般廃棄物排出量は、令和元年度を基準とし令和2年度より、3ヶ年継続して維持する

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般廃棄物の排出 (100万単位の目標値)	kg	305 (1.53)	305 (1.53)	305 (1.53)	305 (1.53)

③ 自社の産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

産業廃棄物排出量は、令和元年度を基準とし令和2年度より、3ヶ年継続して維持する

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
産業廃棄物の排出 (100万単位の目標値)	kg	37,820 (189.10)	37,820 (189.10)	37,820 (189.10)	37,820 (189.10)

④ 節水活動の維持

水使用量は、令和元年度を基準とし令和2年度より、3ヶ年継続して維持する

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
水使用量 (100万単位の目標値)	m ³	404 (2.02)	404 (2.02)	404 (2.02)	404 (2.02)

⑤ 受託した廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
廃棄物の飛散防止	—	保護ネット の実施	保護ネット の実施	保護ネット の実施	保護ネット の実施

環境経営計画（令和2年度～令和4年度）

取組項目	長期目標	単年度目標	担当者	責任者	取組内容
電力消費量削減	3ヶ年維持	現状維持	事務員	環境保全関係 責任者 富岡 慎一	①昼休み及び不在時の照明消灯 ②未使用時のパソコンの電源OFF ③室内空調は、夏場は26～28℃ 冬場は20℃以下に設定
燃料の削減 エコドライブの推進	3ヶ年維持	現状維持	作業員		①効率的な収集ルートの設定 ②社用車の効率的な運転の推進 ③アイドリングストップの励行 ④定期的な車両整備の励行 ⑤できるだけ往復して運搬励行 ⑥走行距離と供給燃料量を記録する
節水活動の推進	3ヶ年維持	現状維持	事務員 作業員		①水道の蛇口を調整して必要以上に 使いすぎないようにする ②流しっぱなしにしない ③トイレの使用の際に注意して、水を使用 する
自社の廃棄物削減 リサイクル活動の 推進	3ヶ年維持	現状維持	事務員 作業員		①紙使用量の削減 ・両面コピーの徹底 ・裏紙の使用 ・ミスした紙は裏面をメモ用紙として使用 ・使用済の封筒の再利用 ②社の購読の新聞などは資源ごみとして 出し、再資源化率を向上 ③ごみの分別の徹底 ④再利用先の拡大
受託した廃棄物の 収集・運搬における 環境配慮	飛散防止 の維持	飛散防止 の維持	作業員		①各作業時に点検を行い、維持する ②ダンプ車等は、シートを被せる

6. 環境経営実績

環境経営目標の達成状況（令和3年11月～令和4年10月）

項目	単位	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	達成率 (%)	評価
①二酸化炭素排出量削減 (百万円単位の目標値)	kg-co ²	191,292.67 (965.46)	181,174.02 (905.89)	105.6%	○
②電力消費量削減 (百万円単位の目標値)	kwh	24,279 (121.40)	18,660 (93.3)	130.1%	○
③燃料油消費量削減 (百万円単位の目標値)	L	49,352.87 (246.76)	49,092 (245.46)	100.5%	○
④水使用量削減 (百万円単位の目標値)	m ³	404 (2.02)	154 (0.77)	262.3%	○
⑤一般廃棄物の削減 (百万円単位の目標値)	kg	305 (1.53)	305 (1.53)	100.0%	○
⑥産業廃棄物の削減 (百万円単位の目標値)	kg	37,820 (189.10)	25,120.0 (125.6)	150.6%	○
⑦廃棄物の飛散防止	—	○	○	100.0%	○

【目標値についての説明】

- ・ 目標値については、売上高百万円当たりの数値を使用。
- ・ 電力消費量の二酸化炭素排出係数は「九州電力2017年度調整後排出係数」
0.463kg-co²/kwhを使用する

【評価について】

達成率： ○ 100%以上 △ 99%～80% × 79%以下

環境経営目標実績表

項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量 (百万円単位の目標値)	kg-co ²	149,043.11 (745.22)	140,504.20 (716.86)	191,292.67 (965.46)	204,194.31 (972.35)	181,174.02 (905.89)
電力消費量 (百万円単位の目標値)	kwh	20,869 (104.35)	19,215 (98.04)	24,279 (121.40)	25,870 (123.19)	18,660 (93.3)
燃料油消費量 (百万円単位の目標値)	L	47,960.59 (239.80)	46,829.18 (238.92)	49,352.87 (246.76)	49,208.58 (234.33)	49,092.44 (245.46)
一般廃棄物の排出 (百万円単位の目標値)	kg	320 (1.60)	308 (1.57)	305 (1.53)	310 (1.48)	305 (1.53)
産業廃棄物の排出 (百万円単位の目標値)	kg	51,160 (255.81)	27,152 (138.53)	37,820 (189.10)	230 (1.10)	25,120.0 (125.6)
水使用量 (百万円単位の目標値)	m ³	560 (2.80)	510 (2.60)	404 (2.02)	236 (1.12)	154 (0.77)
廃棄物の飛散防止	—	防護ネット の実施	防護ネット の実施	防護ネット の実施	防護ネット の実施	防護ネット の実施

※電力消費量の二酸化炭素排出係数は「九州電力2017年度調整後排出計数」0.463kg-co²/kwhを使用する

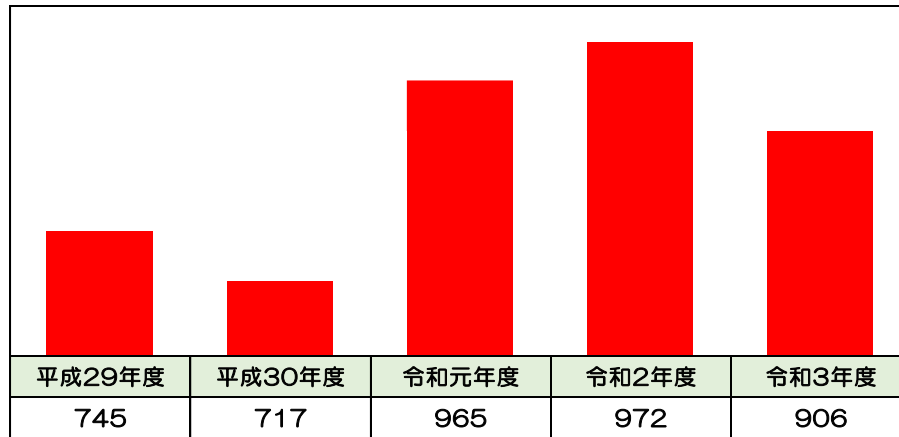
※参考※ 【二酸化炭素排出量内訳】

項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電力消費量	kwh	20,869	19,215	24,279	25,870	18,660
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	9,662.35	8,896.55	11,241.18	11,977.81	8,639.58
灯油	L	80.00	88.16	35.65	54.00	18
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	199.20	219.52	88.77	134.46	44.82
重油	L	5,900	3,200	19,600	24,200	17,100
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	15,989.00	8,672.00	53,116.00	65,582.00	46,341.00
ガソリン	L	2,314.25	2,092.22	2,117.87	1,981.20	2,219.42
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	5,369.06	4,853.95	4,913.46	4,596.38	5,149.05
軽油	L	45,646.34	45,661.50	47,235.00	47,227.38	46,873.02
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	117,767.56	117,806.67	121,866.30	121,846.64	120,932.39
プロパンガス	m ³	25.90	25.70	31.00	26.40	31.10
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	55.94	55.51	66.96	57.02	67.18
合計						
(二酸化炭素排出量)	kg-co ²	149,043.11	140,504.20	191,292.67	204,194.31	181,174.02

二酸化炭素排出量・電力消費量・燃料消費量推移

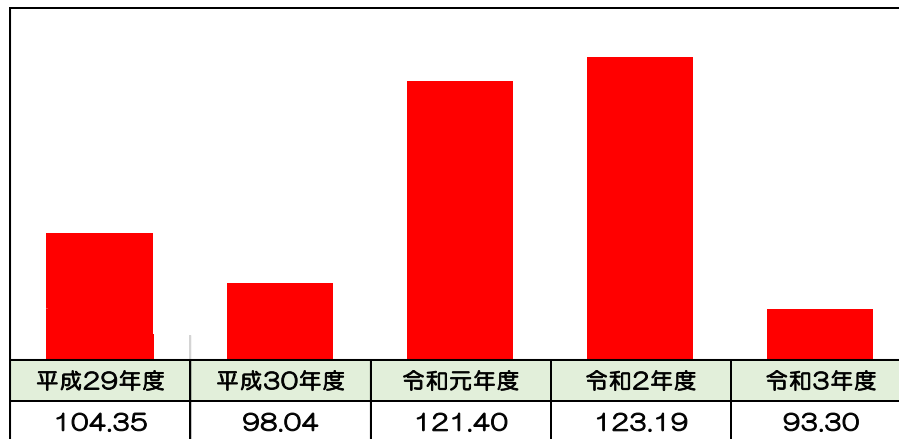
【 二酸化炭素排出量推移 】

【 単位：kg-co² 】



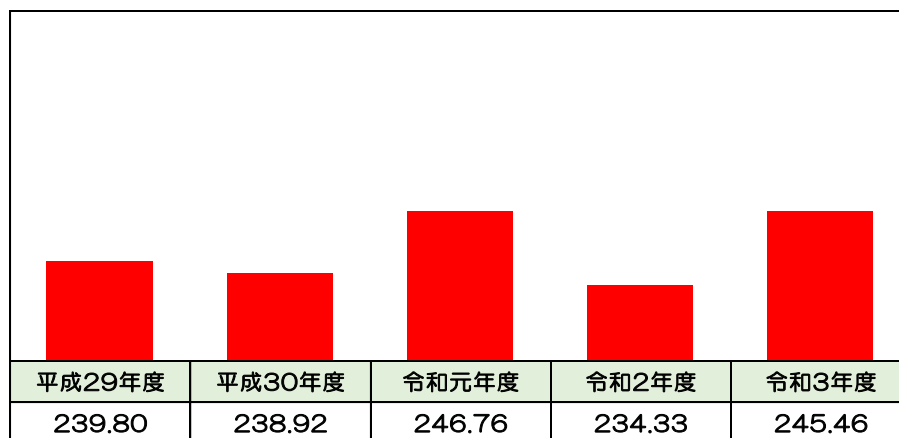
【 電力消費量推移 】

【 単位：kwh 】



【 燃料消費量推移 】

【 単位：L 】



7. 環境活動の取組み結果への評価、次年度の取組内容

弊社は、事業活動を行う中で地域住民や地域環境に配慮し、環境と人にやさしい事業を目標とし活動してまいりました。

今年度は地域住民への周知を図る為説明会を開催し、住民意見の把握に努めました。

次年度も環境目標の達成はもちろん、地域住民に慣れ親しんでいただけるような会社を目指します。

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	評価結果
廃棄物処理法	業の許可の更新、マニフェスト管理	○
消防法	消火の設置、定期点検	○
道路交通法	運転時の事前点検、過積載防止	○
植物防疫法	焼却処分	○
肥料取締法	届出および表示	○
ダイオキシン類特措法	排出基準の遵守	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施を記録保管	○

法令などの順守状況のチェックに記載のように、環境関連法規への違反はありません。

なお、環境当局による違反の指摘も過去3年間受けておりません。

令和4年12月13日

代表取締役

城座 義昭

環境管理責任者

富岡 慎一

9. 代表者による評価と見直し

エコアクション21への活動を開始して8年が経過しました。

環境経営方針に沿って目標達成に取り組んでまいりました。その結果、社員全員の意識が高まり全ての目標達成に至りました。

来年度も新型コロナウイルス対策をしながらの活動となりますが、今年度同様高い意識をもちより一層の成果が得られる活動をしていきたいと思います。環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画実施体制の変更はありません。

令和4年12月13日

代表取締役・・・城座義昭